



本市出身の芸人、井上マーが
宇都宮のイイトコを訪れ、触れてきました。

グラウンドワーク西鬼怒

今回訪れたのは宇都宮北東部、僕の生まれ育った白沢地区。旧奥州街道第1の宿だった面影を残していて、周辺には田園が広がる雰囲気の良い所なんです。そんな白沢地区の豊かな環境を子どもたちに残そうと活動しているのが今回お邪魔した「グラウンドワーク西鬼怒」。「田んぼの学校」と題して、ホタル観察や川遊びなども開催する、とても素敵な団体なんです。東京圏から親子で自然体験をしに来る人もいます。

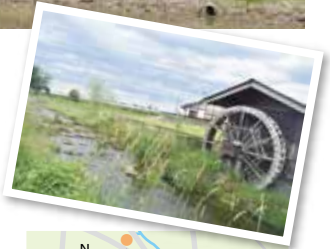
参加したのはドジョウ水路と言って、その名の通りドジョウが生息する水路の草刈り。草刈りのお手伝いはもちろん、子どもたちと一緒に泥だらけになって虫を探したり、普段僕が住んでいる東京では出会えない貴重な体験ができました。やっぱりふるさと宇都宮には、こんな豊かな田園風景が欠かせないですね。



▲グラウンドワーク西鬼怒のメンバーとイベント参加者の皆さん



▲作業の合間に子どもたちと虫を探すマーさん。



▲白沢公園



グラウンドワーク西鬼怒

西鬼怒川周辺を活動範囲に自然環境の維持管理作業や豊かな農村の自然を生かした環境教育などに取り組んでいます。イベントへの参加を希望する場合は、白沢公園グラウンドワーク活動センター(白沢町) ☎(673)9766へお問い合わせください。

※グラウンドワーク西鬼怒について、8月14日(日)午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「井上マーの教えてイイトコ宇都宮」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

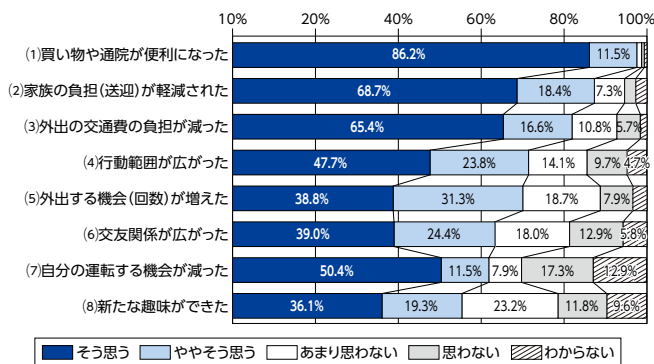
乗ってみよう 地域内交通

地域内交通導入の効果

地域内交通導入の効果は、高齢者など自家用車を運転できない人の移動手段の確保ではありません。通院や買い物など、日常生活での移動手段の役割りはもちろん、その他にもさまざまな効果を生み出しています。

利用者に地域内交通導入後の日常の変化についてのアンケート調査(下のグラフ)を実施したところ、「家族の送迎負担が軽減した」「交通費の負担が軽減した」「外出機会が増加した」「行動範囲が広がった」などの項目について「そう思う」「ややそう思う」という回答が多数を占めており、地域内交通が高齢者やその家族の便益の向上に役立っていることが分かります。

地域内交通導入後の日常の変化に関するアンケート調査結果



これまで各地区の地域内交通の取り組みを紹介してきました。最終回となる今回は、「地域内交通導入の効果」と、「今後の取り組み」について紹介します。

今後の取り組み

1 市郊外部全域での導入を目指します 郊外部13地区のうち、すでに導入した12地区・13路線に加え、現在、未導入の姿川地区でも検討が進められています。

また、清原地区や城山地区でも、導入地域の拡大に向けた検討が進められています。

2 地域の活性化も担います 導入地区では、今年度から、地域行事や選挙の投票日に合わせ日曜・祝休日に運行し、地域の活性化や投票率の向上に役立てるなど、運行の充実を図っていきます。

3 バスとの連携を進めます スムーズに乗り継ぎできる乗り継ぎポイントの選定、高齢者にも利用しやすい待ち合い環境の整備、運賃負担の軽減など、乗り継ぎ利用促進策を検討し、移動利便性の向上にも取り組んでいきます。

☎交通政策課 ☎(632)2133

地域内交通の取り組み状況

